

第22回 滋賀県税制審議会

琵琶湖森林づくり県民税の  
活用状況について

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課

# 琵琶湖森林づくり事業



Mother Lake  
Goals

## ▶ 環境を重視した森林づくり

- ① 陽光が差し込む適切な森林整備
  - ・ 環境林整備事業、ニホンジカ捕獲など
- ② 次世代の森の創生
- ③ 森林資源の循環利用と二酸化炭素の固定
  - ・ 間伐材の利用や機械化の促進など
- ④ 森林の防災機能の強化
  - ・ 災害に強い森林づくり事業



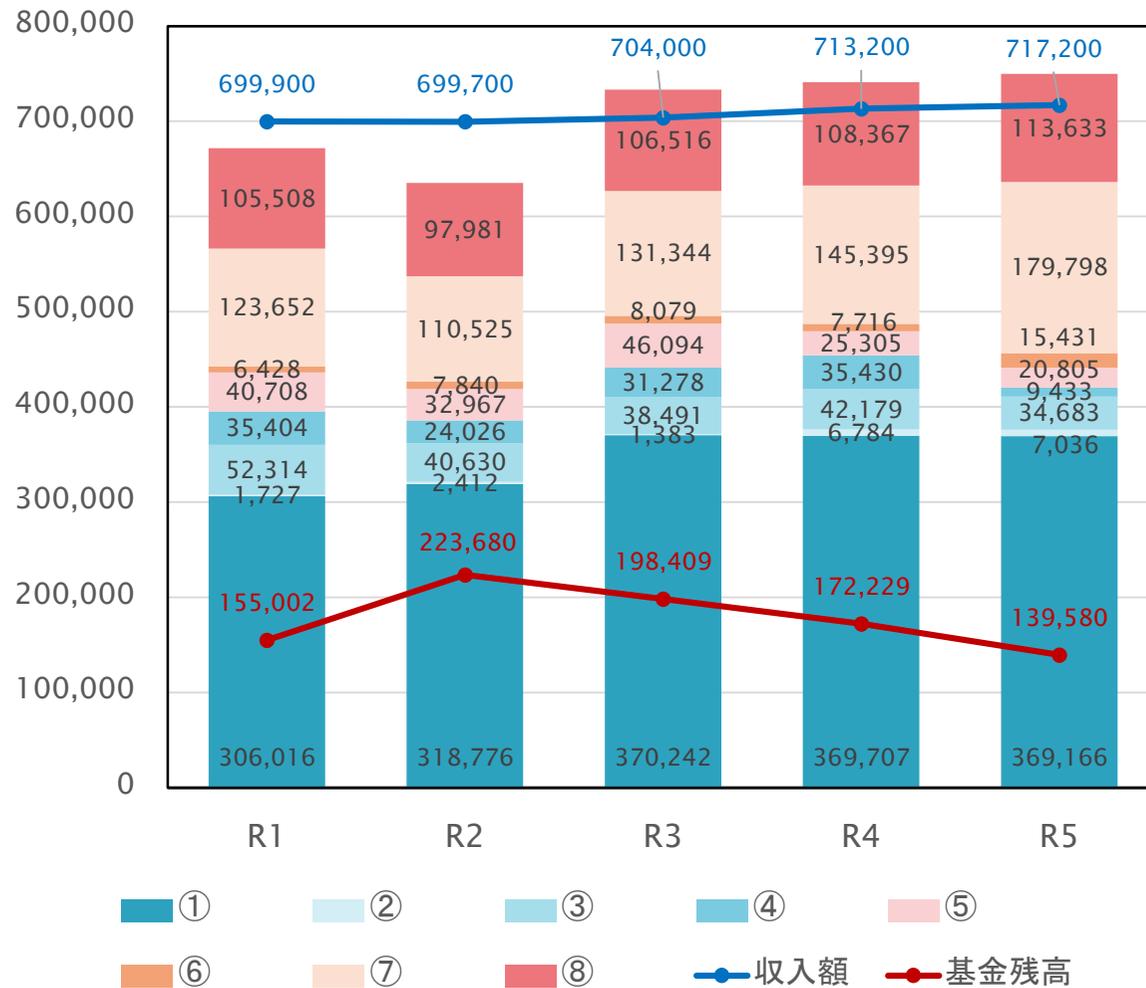
## ▶ 県民協働による森林づくり

- ⑤ 森林づくりへの理解や参加の促進
- ⑥ 多様な主体による森づくり活動への支援
  - ・ 「やまの健康」(農山村の活性化)など
- ⑦ 木のぬくもりや良さの体感
  - ・ 「びわ湖材」の利用促進、「木育」の推進など
- ⑧ 森林環境学習や次代の人材育成
  - ・ 「やまのこ」や「しが自然保育」の推進など





# 県民税の収入額と事業費の推移



※収入額は、徴税経費を差し引いた金額

- ・収入額、執行額ともに増加傾向
- ・R3以降、収入額を上回る執行額
- ・R1、R2新型コロナの影響もあり生じた執行残を活用しており、基金残高は減少傾向。
- ・①森林整備、⑦木の良さ体感、⑧森林環境教育の執行額が大きい。
- ・条例の目的を達成するためには、継続的な取組が必要。



# 活用事例

➤➤ 琵琶湖森林づくり事業



# ① 陽光が差し込む適切な森林整備



強度に間伐を行い、針葉樹と広葉樹が混交する多面的機能の高い森林「環境林」へ誘導する



植栽木や下層植生に影響を与えるニホンジカの捕獲



## ②次世代の森の創生

- ▶ 次世代森林育成対策事業
  - 伐採後植林した森林を育成するための獣害防護柵の支援
- ▶ びわ湖カーボンクレジットによる森林づくり推進事業
  - 「J-クレジット」への登録・認証申請を希望する団体を支援



防護柵設置状況

「J-クレジット」・・・CO2削減量や吸収量を国が認証し、認証分のクレジットを発行する制度。  
発行されたクレジットは市場で販売することができる。



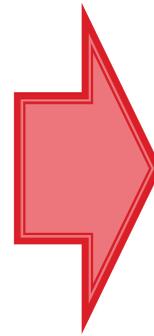
Mother Lake  
Goals

## ④森林の防災機能の強化

- ▶ 災害に強い森林づくり事業
  - 風倒木被害を未然に防ぐため、重要なインフラ沿いの伐採を支援



伐採前状況



伐採・低木植栽後状況



Mother Lake  
Goals

## ⑥ 多様な主体による森づくり活動への支援

- ▶ 森林・山村多面的機能発揮対策事業
  - 地域の活動団体が、里山の保全などを行う活動を支援
- ▶ 森の恵み活用促進事業
  - 地域住民自らが、森林等の地域資源を活かし、地域経済の活性化等を目指す活動を支援



地域活動団体による  
里山整備



スギ・ヒノキのアロマオイル  
(森林資源活用)





## ⑦木のぬくもりや良さの体感

- ▶ 木製品の導入
  - 木製備品の購入支援
- ▶ あらゆる用途への木材利用
  - 公共施設、住宅や民間施設などへの県産材利用拡大支援
- ▶ その他
  - びわ湖材利用の研究開発



商業施設の木製遊具



一般住宅



幼稚園・保育所の構造材



## ⑦木のぬくもりや良さの体感

### ○「しが木育」

木とふれあい、木に学び、木と生活することにより、暮らしと森と琵琶湖のつながりを理解し、豊かな心を育む取組

- ・木育イベント開催等木育の場の確保
- ・保育所等へ木育製品の貸し出し
- ・木の魅力を伝える木育指導者の育成

つなぐ 「しが木育」 指針



木育イベント



木育製品の貸し出し



R5.4策定



Mother Lake  
Goals

## ⑧次代を担う子どもたちへの森林環境学習

○自然を活用した幼児教育・保育を行う団体を認定する

「しが自然保育認定制度」

・・・認定団体数 11団体(R5年度末)

○県内全ての小学4年生を対象とした森林環境学習

「やまのこ」・・・実施学校数 231校(R5、実施率100%)



自然保育実施状況



やまのこ実施状況